

# 工事事故の発生状況

## 平成29年12月



北陸地方整備局

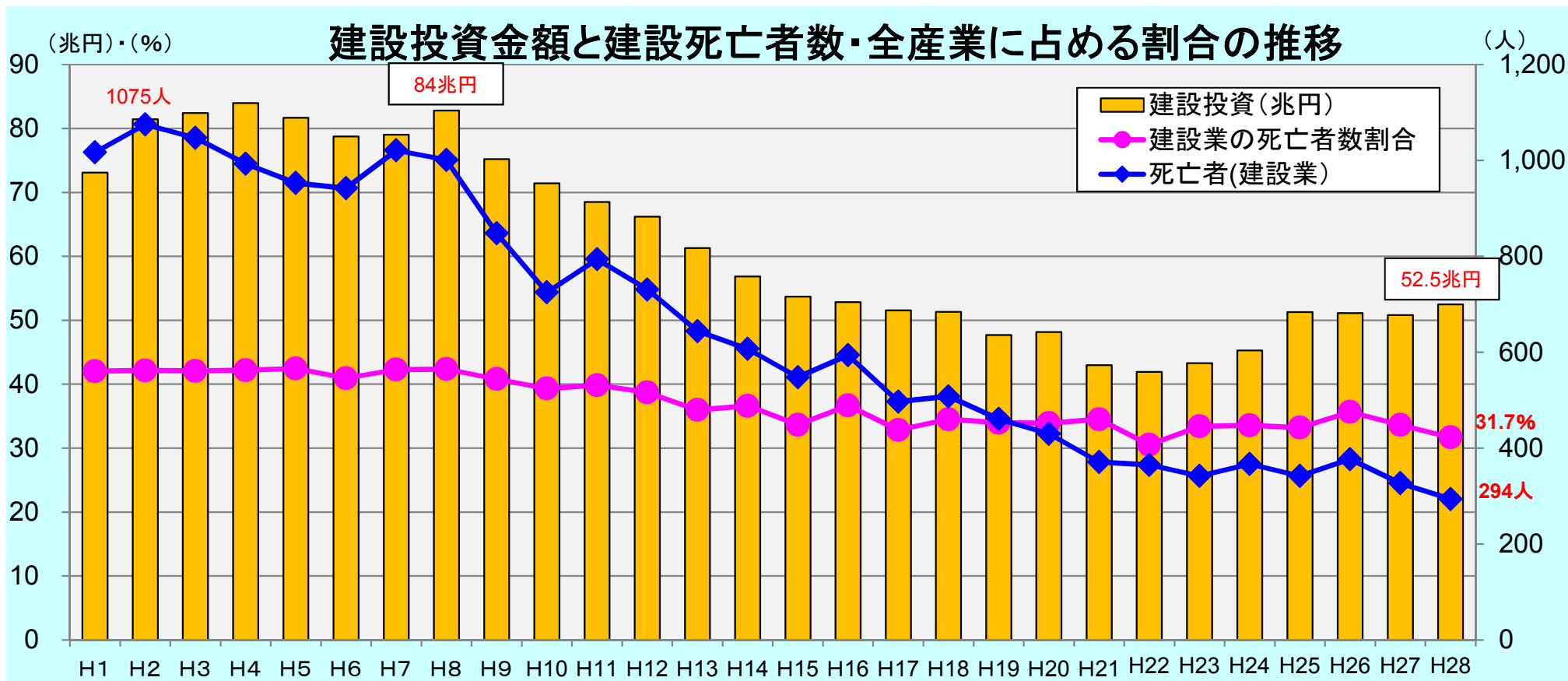
※本資料は、国土交通省、北陸地方整備局が作成した資料等により構成されています。  
また、数値については速報値であるため、今後変更する場合があります。

# 目次

1. 全国の事故発生状況	2
2. 北陸地整管内の事故発生状況	6
3. 北陸管内の事故発生事例	17
4. その他	30
・建設工事事故データベース	31
・北陸地方整備局建設労働災害防止週間	32
・安全管理優良受注者表彰制度	33
・安全管理優良受注者 事例集	34
・あんぜん北陸	35

# 1. 全国の事故発生状況

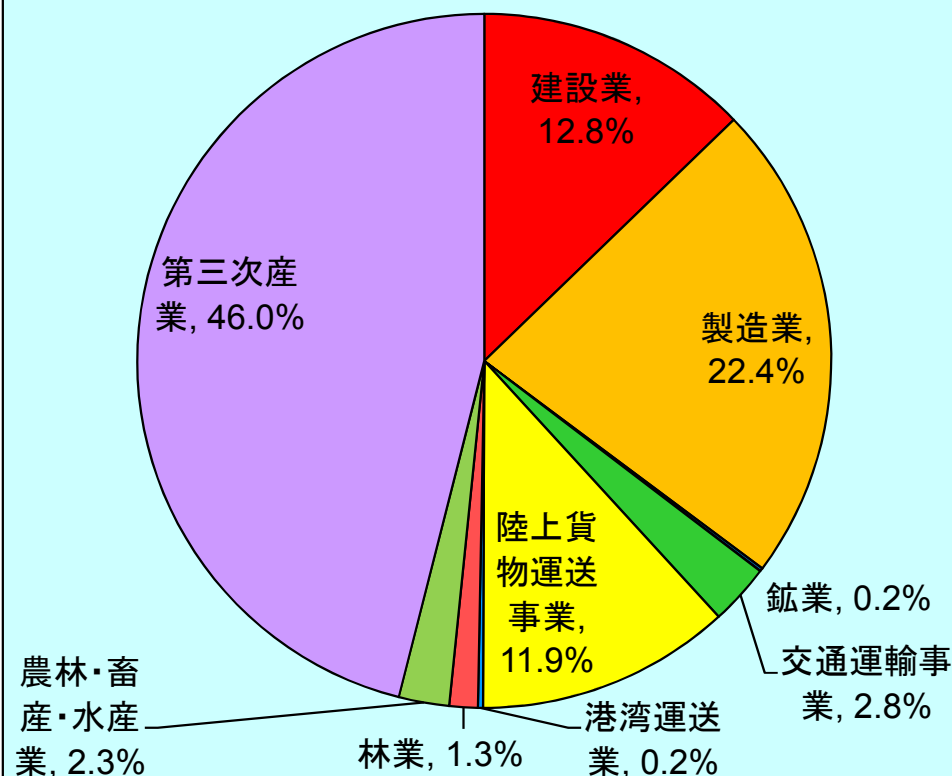
- ・平成元年から平成28年の建設業の死亡者数の推移は、平成2年の1075人から、平成28年の294人とピーク時の約3割となっている。また、平成27年(327人)より33人減少している。
- ・全産業の死亡者数に占める建設業の割合は、30%~40%の間で推移しており、全産業に占める建設業の死亡者の割合は、高い比率のまま推移している。



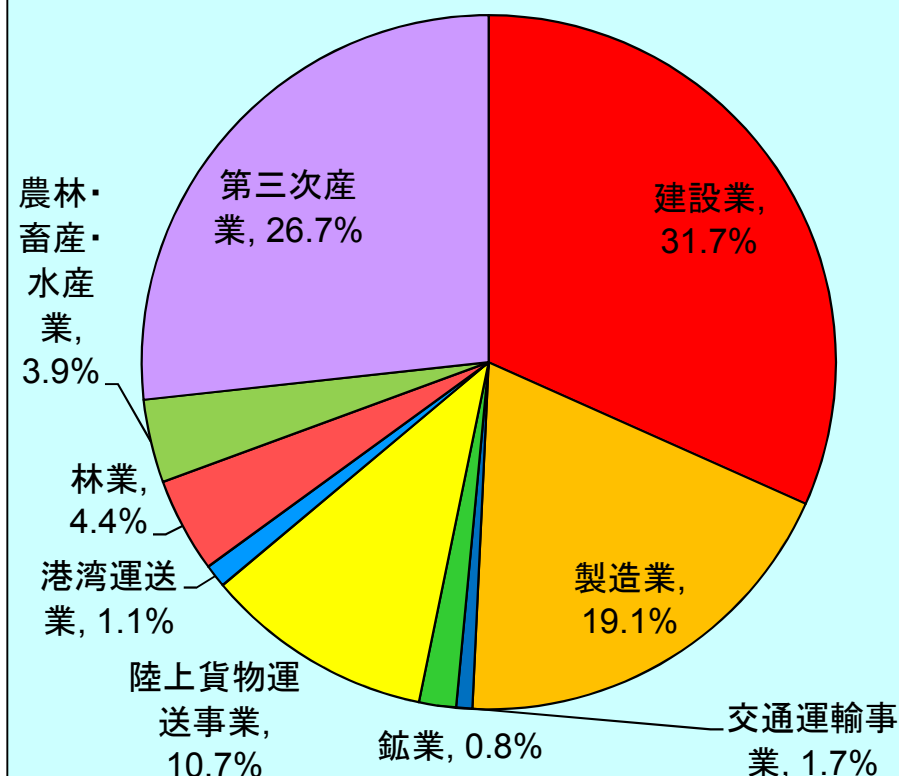
※資料: 厚生労働省 労働災害統計より  
 ※資料: 国土交通省「建設投資見通し」より

- ・全産業に占める、建設業の死傷者数は12.8%であり、製造業の22.4%より低い状況となっている。
- ・死亡者数は全産業(928人)の約32%(294人)を占めており、**全産業の中でワースト1**。

## H28 業種別死傷者の割合



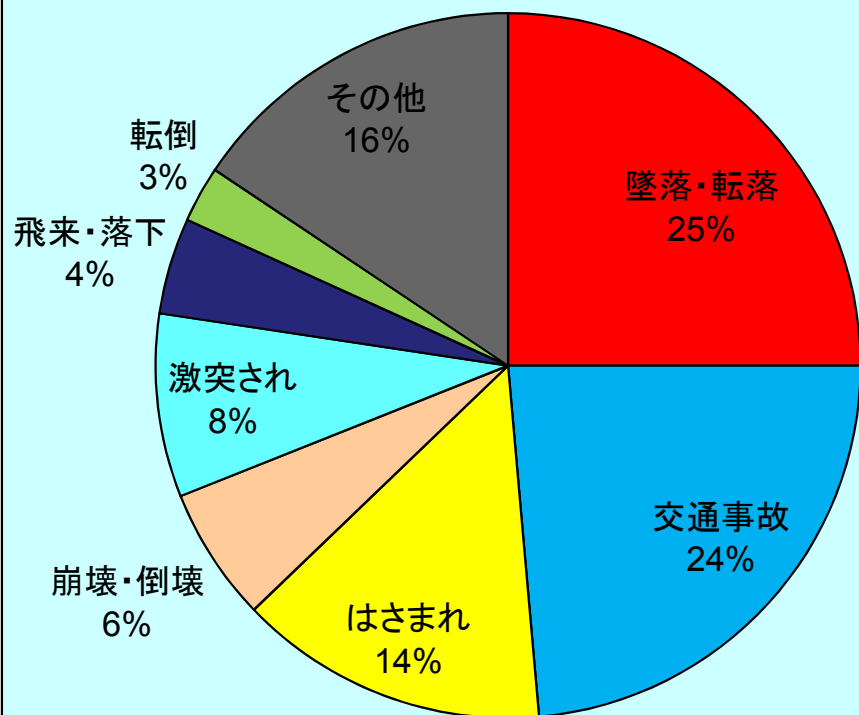
## H28 業種別死亡者の割合



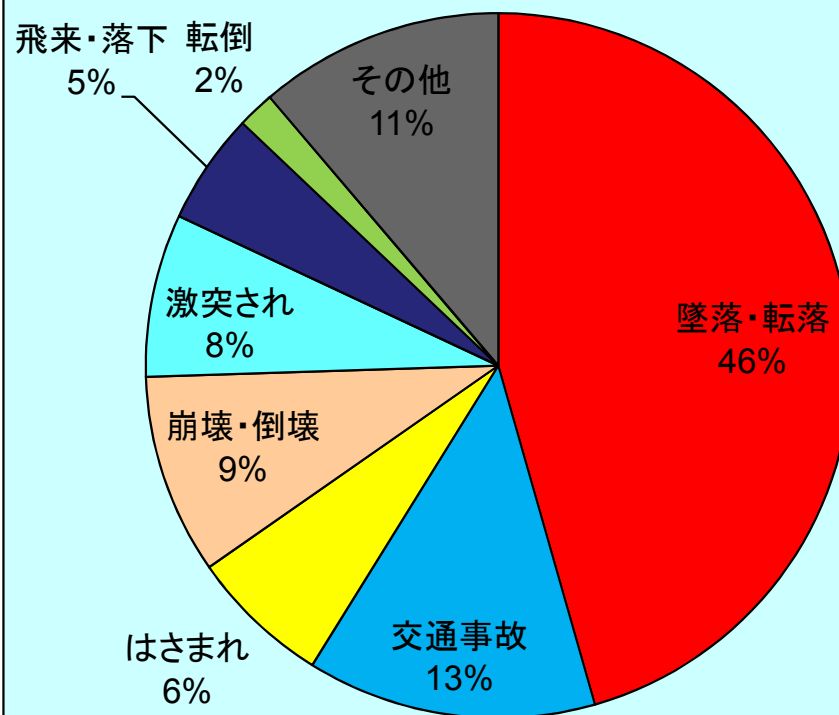
※資料:厚生労働省 労働災害統計より

- ・全産業の死亡事故の原因では墜落・転落が25%、交通事故が24%と発生件数が多い。
- ・建設業の死亡事故の原因では、墜落・転落が46%(134件)、交通事故が13%(39件)と、**墜落・転落の比率が全産業内でも特に多く発生**している。

H28 死亡事故発生原因別(全産業928人)



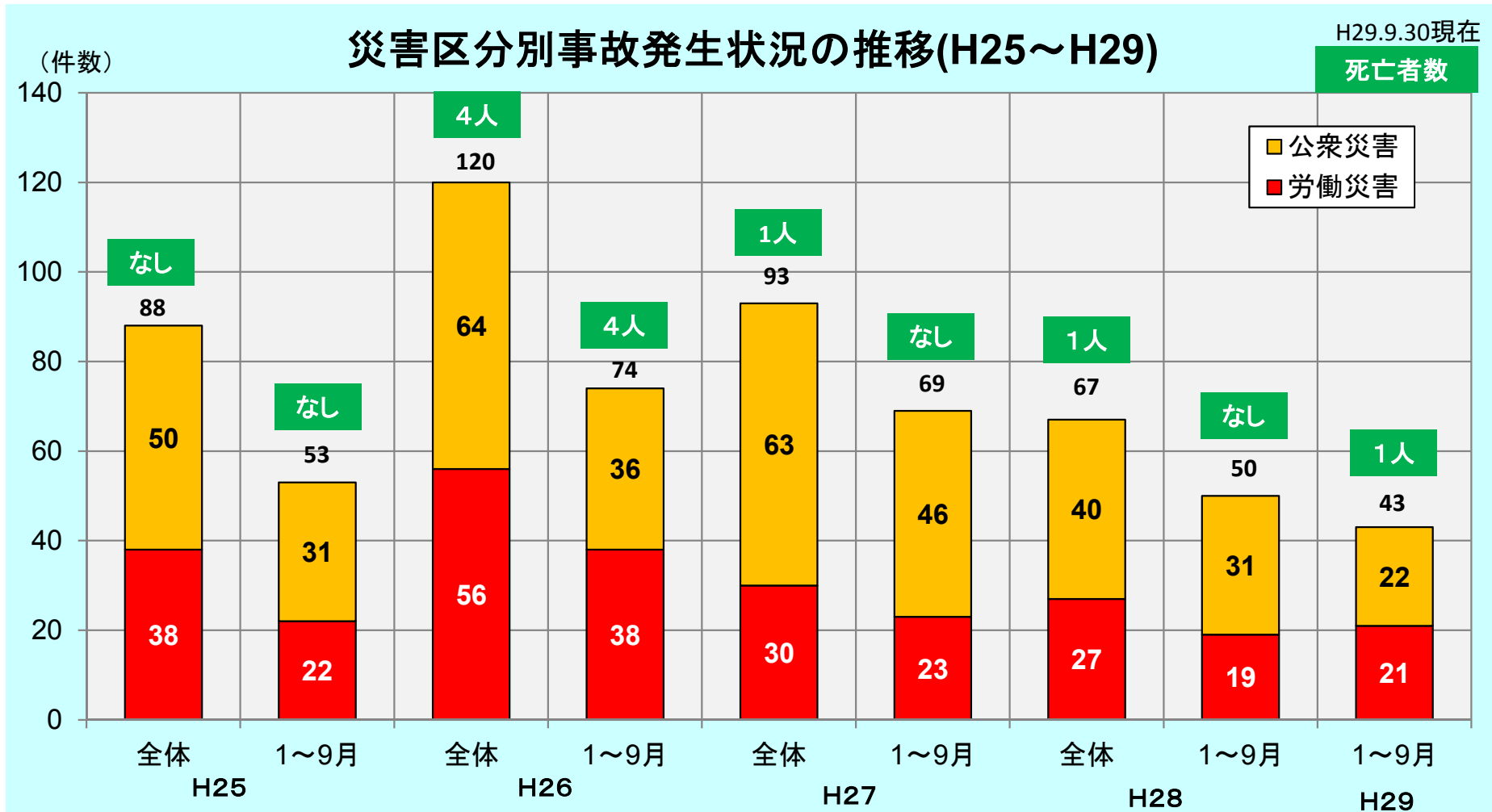
H28 死亡事故発生原因別(建設業294人)



※資料:厚生労働省 労働災害統計より

## 2. 北陸地整管内の事故発生状況 (平成29年9月末現在速報値)

- ・H29年9月末までの工事事数事故件数は43件発生している。
- ・労働災害は21件、公衆災害は22件の事故が発生している。
- ・H27年から1～9月の死亡事故はなかったが、H29年に1人の死亡事故が発生した。

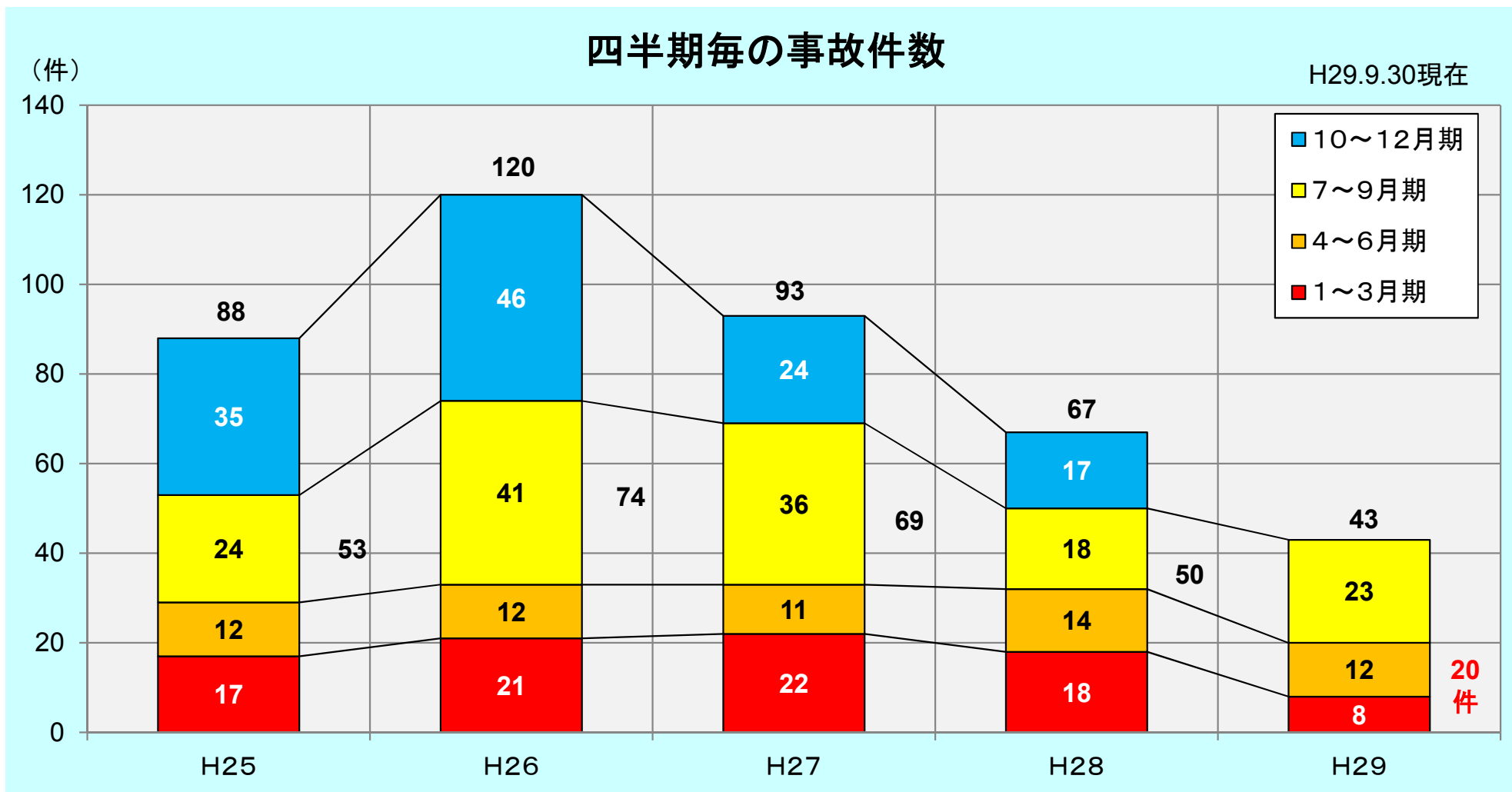


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事



・9月末現在を比較すると、H29は第1四半期が過去5カ年で最小(8件)となったが、7～9月の件数が23件と前年から5件増加し、1月～6月の発生件数(20件)を上回っている。



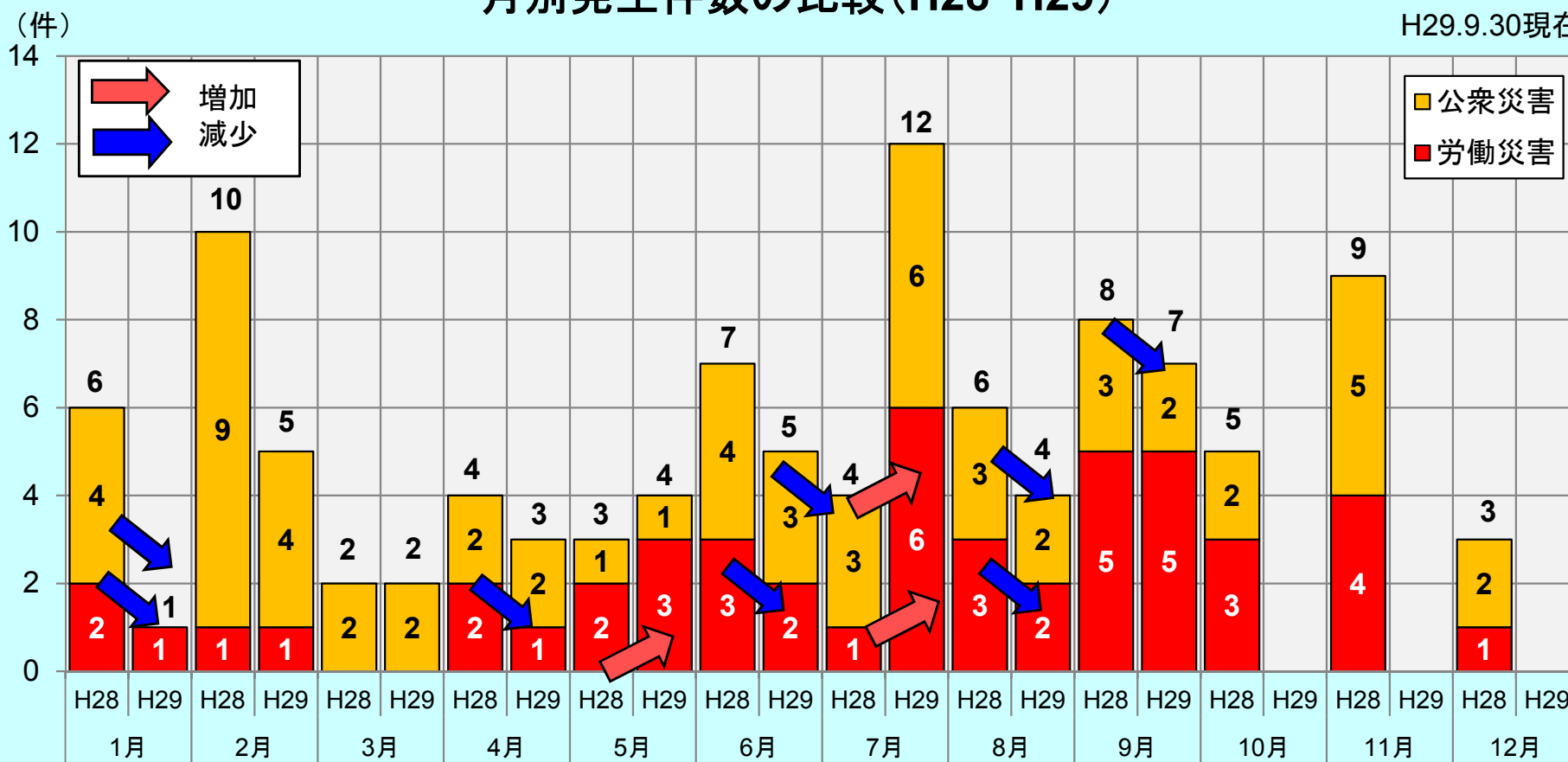
※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

- ・H28とH29の月別事故発生件数を比較すると、公衆災害は1月(-4件)、2月(-5件)で大きく減少しているが、7月で6件(+3件)と前年から倍増している。
- ・労働災害は、5月、7月で増加しており、特に7月は6件(+5件)と大きく増加している。

## 月別発生件数の比較(H28・H29)

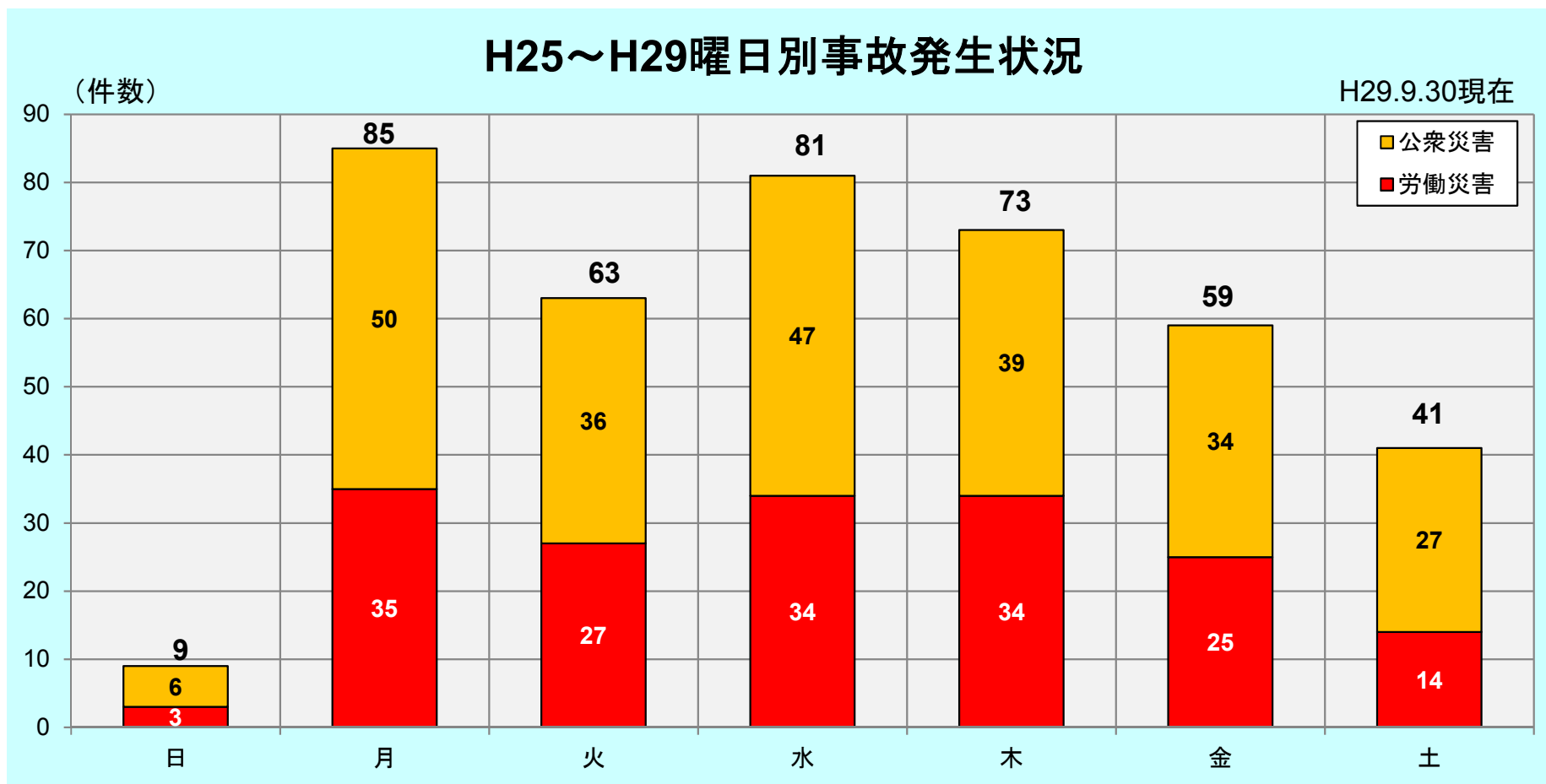
H29.9.30現在



※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

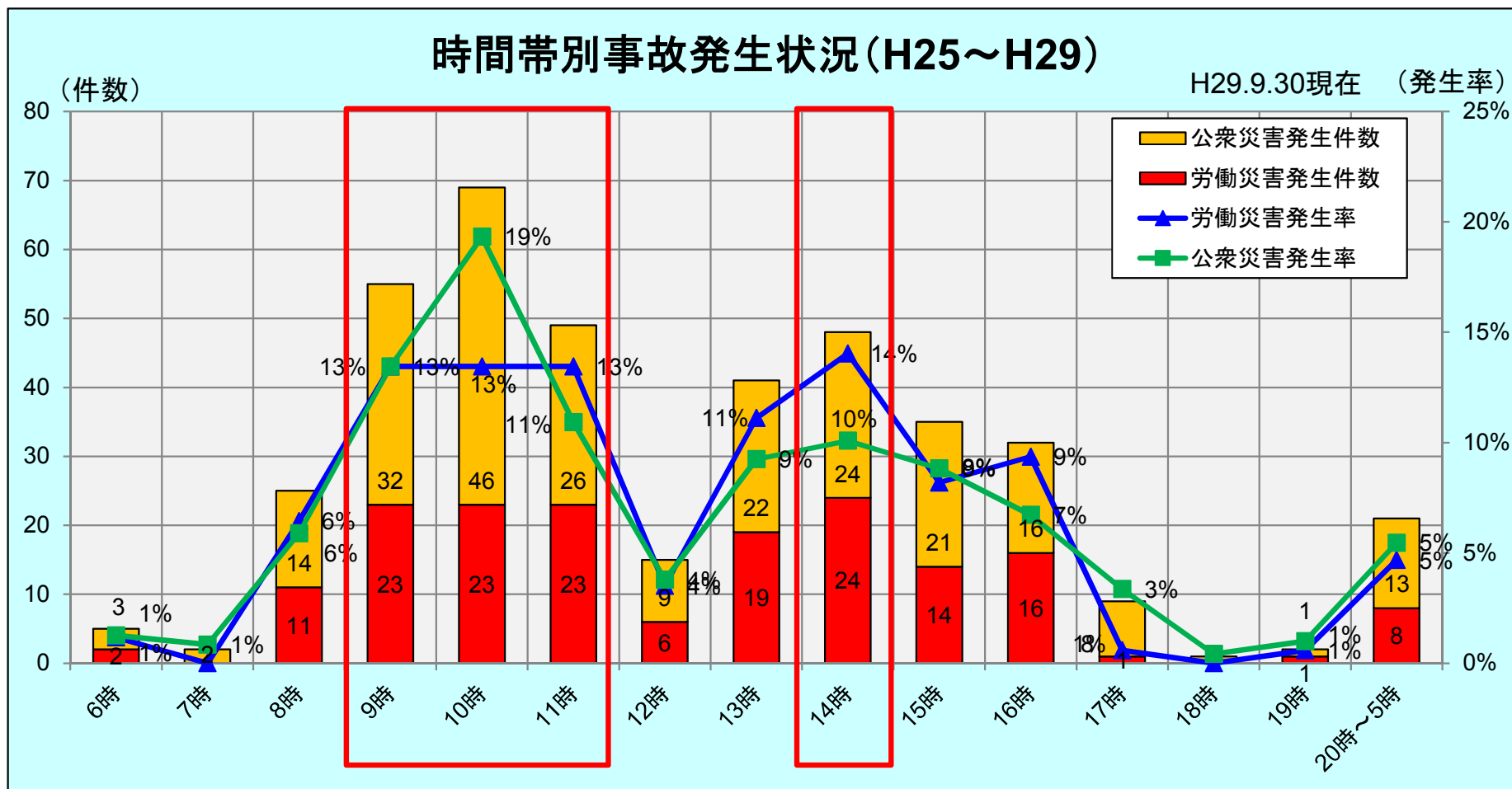
- ・H25～29の事故発生件数を曜日別にみると、月曜日、水曜日での事故発生が多い。
- ・月曜日、水曜日は、労働災害、公衆災害ともに多く発生している。
- ・土曜日は休日作業で工事全体の稼働が少ないにもかかわらず、事故の発生が多い。
- ・月曜日、水曜日は公衆災害の発生が特に多い。



※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

- ・事故の発生を時間帯にみると、9時台から11時台の午前中が多い。
- ・午後は14時台の発生が多い。
- ・公衆災害は10時台の発生が最も多く、労働災害は9～11時台、14時台で発生が多い。

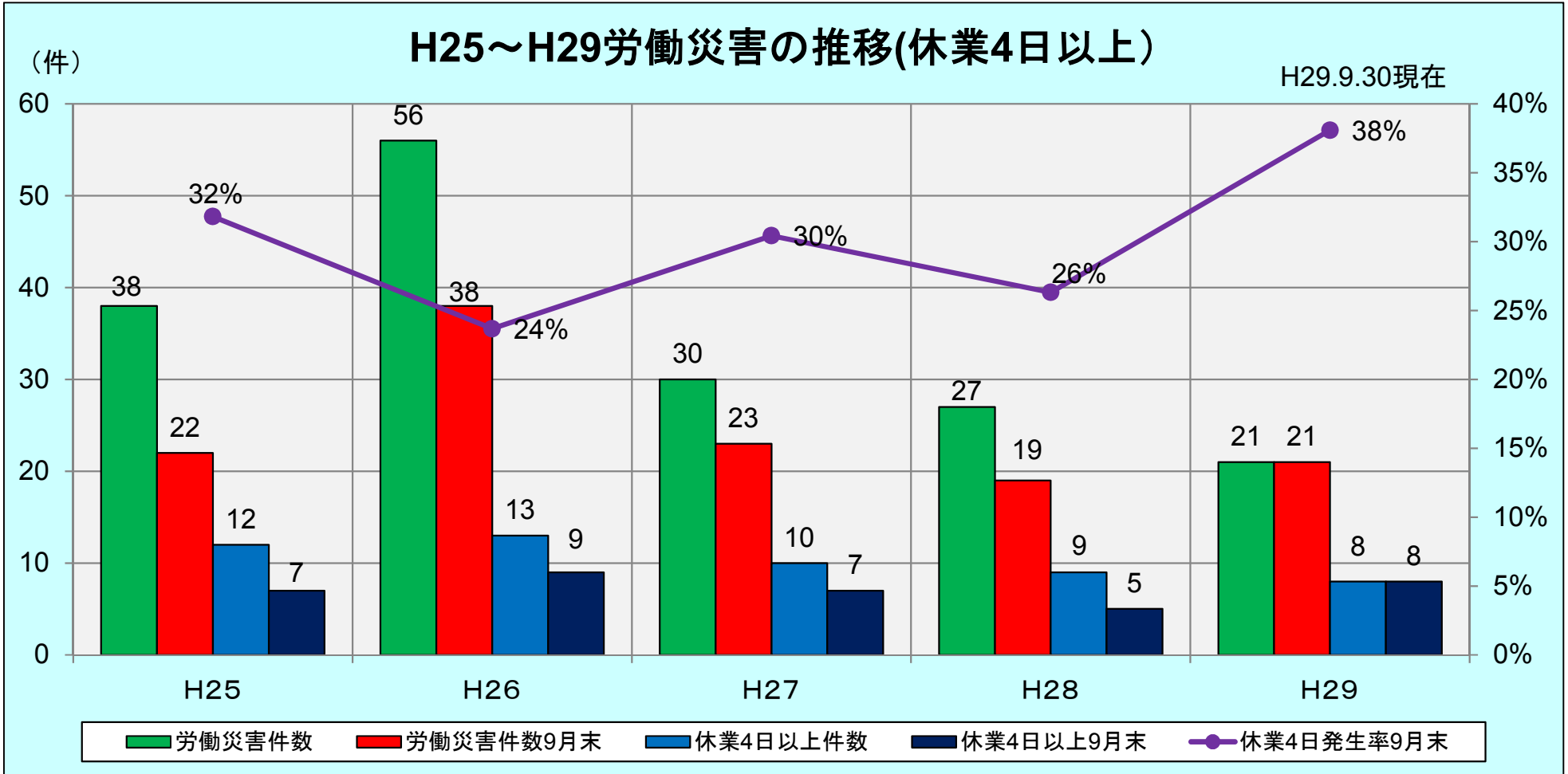


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※発生率は全事故件数に対する時間毎の割合

※北陸地方整備局発注の直轄工事

- ・9月末で比較した休業4日以上の事故発生件数は、H29は8件発生している。
- ・休業4日以上の発生率について、H29は38%と過去最高の発生率になっている。

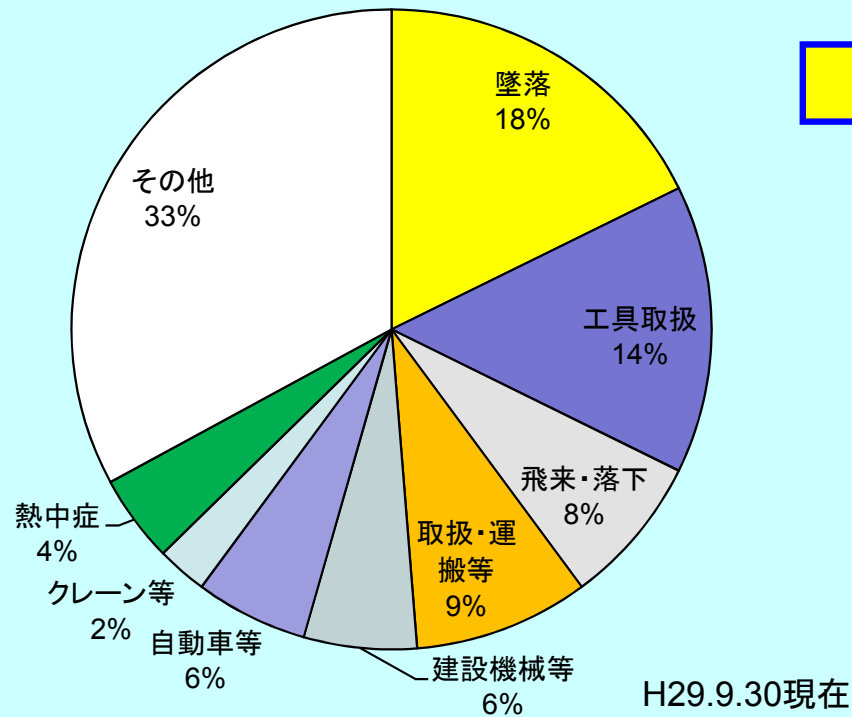


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

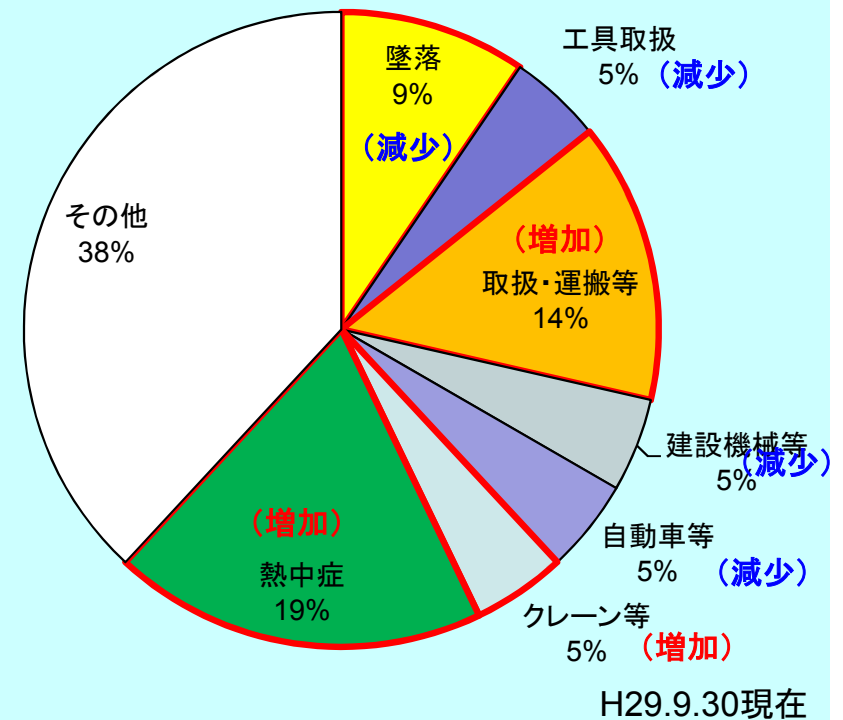
※北陸地方整備局発注の直轄工事

- ・事故分類別の発生割合をH29とH25～H28の合計で比較すると、H29は取扱・運搬等、クレーン等、熱中症が増加し、墜落、工具取扱、建設機械等、自動車等が減少している。
- ・特に熱中症の事故割合が大きく増加している。

## H25～H28労働災害の内訳 (報告件数158件)



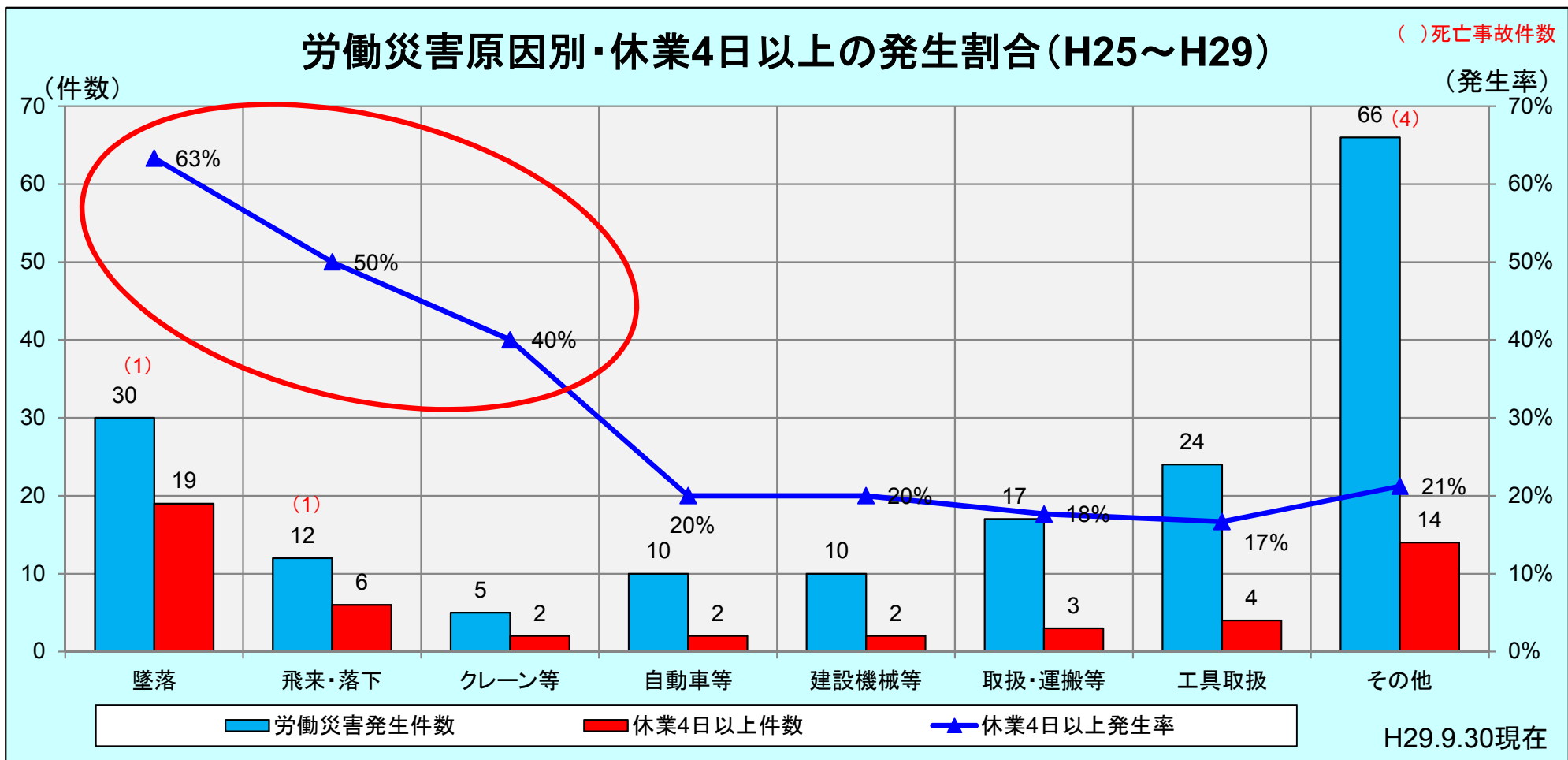
## H29労働災害の内訳 (全報告件数21件)



※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

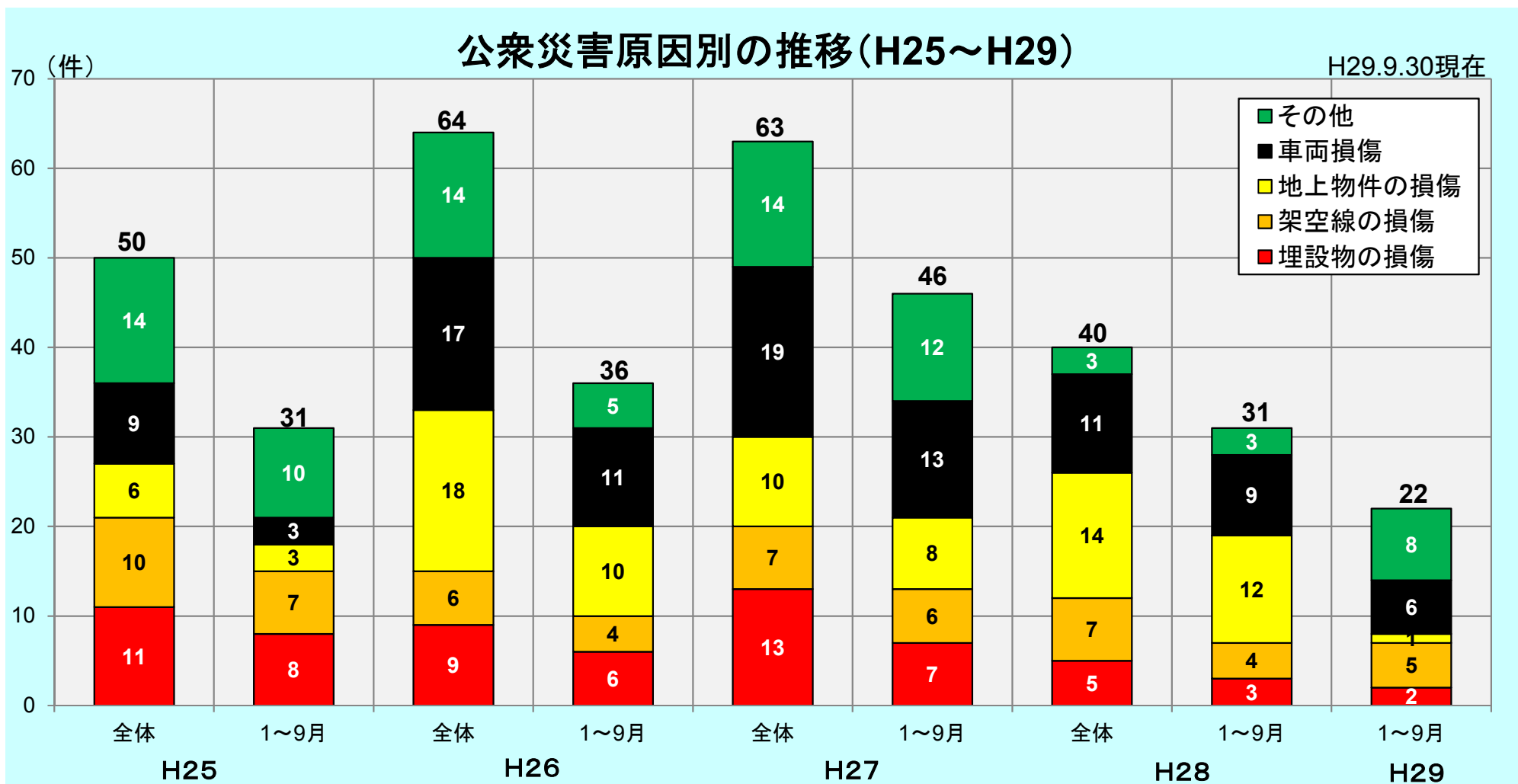
- ・休業4日以上の重大事故の発生状況は、墜落、飛来落下、クレーン等での発生割合が63%、50%、40%と高い割合となっている。
- ・死亡事故は、重大事故発生件数との相関は見られない。



※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

- ・H29の事故件数はH25～H28と比較すると、発生件数は昨年より9件減少している。
- ・発生原因別では車両損傷、架空線の損傷の発生件数が多くなっている。

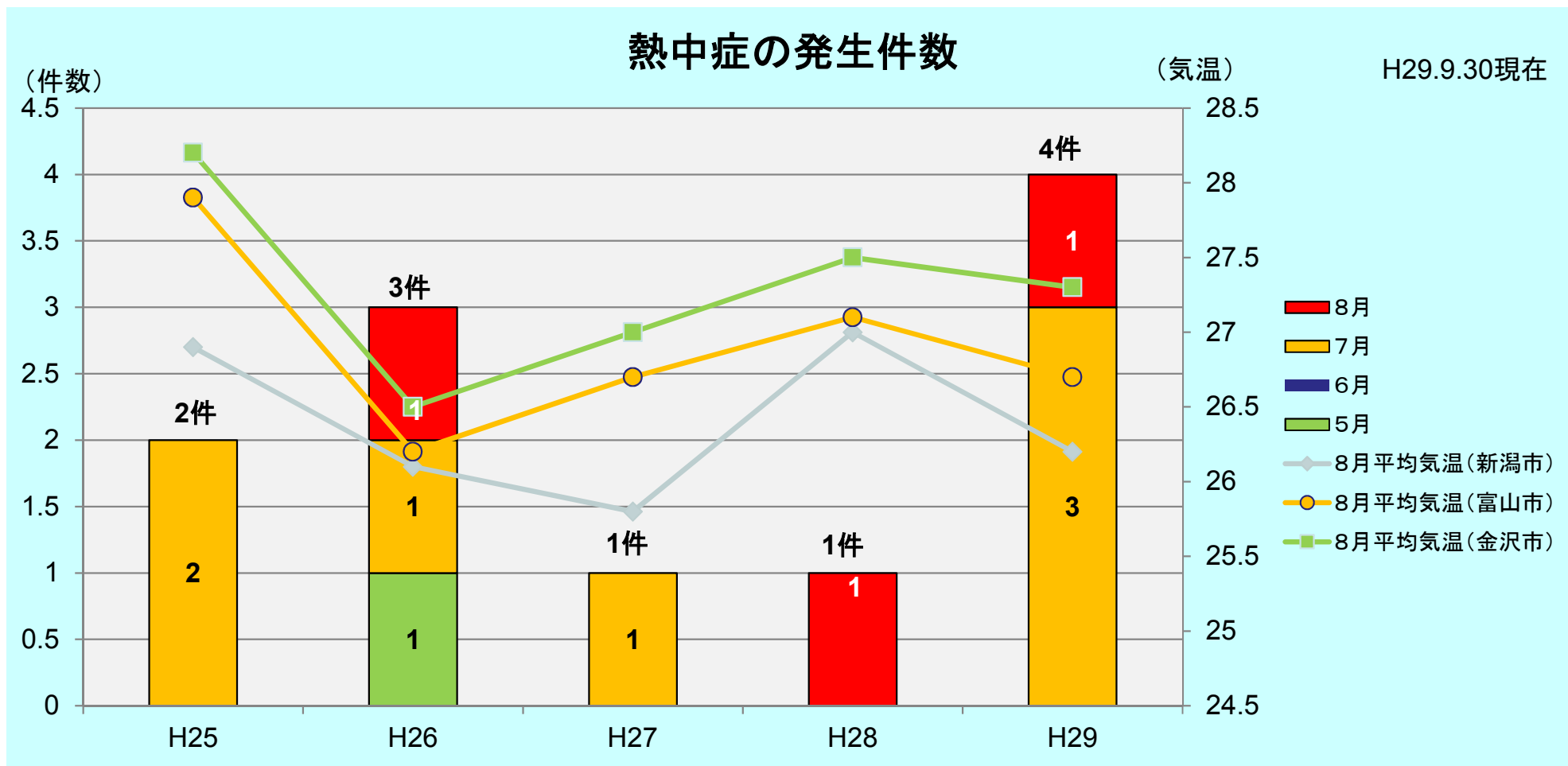


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事



- ・熱中症はH24に多く発生した後、発生件数は減少していたが、H29に再び増加している。
- ・熱中症の発生月では、気温が高くなり始める7月に多く発生している。
- ・H29は4件の熱中症が発生して、過去5力年で1番多く発生している。(4件とも軽い症状)



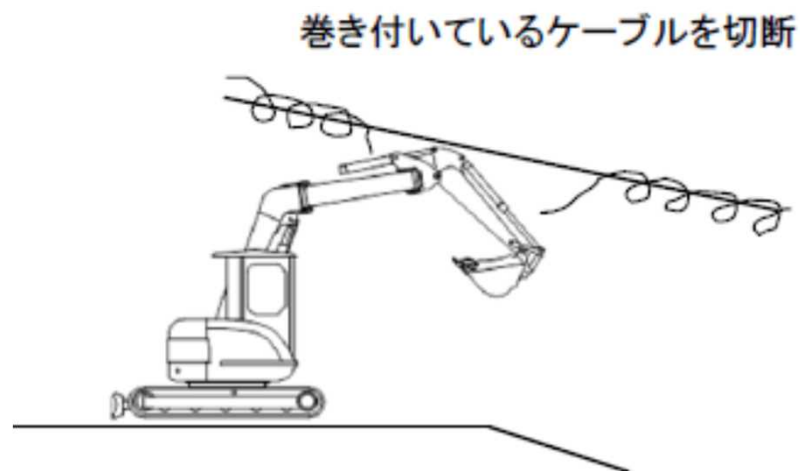
※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

## 4. 北陸管内の事故発生事例 (平成29年1月～9月発生事故より)

- ①日時:平成29年4月12日(水)16:40頃
- ②工事内容:河川工事
- ③事故内容:バックホウのアームが架空線に接触し切断した
- ④被害状況:排水樋管(市管理)の水位情報通信ケーブルの切断

## 建設機械等事故



### 【事故発生状況】

土砂仮置き場で敷鉄板をバックホウで敷き直ししている際、バックホウのアームが架空線に接触し切断した。

### 【事故発生原因】

- ・ダンプトラックの土砂運搬時、敷鉄板が側道側にずれ、一般車両への影響が懸念されたため即時敷鉄板をバックホウで移動することとしていたが、作業に集中するあまり、上空の架空線を失念してしまった。
- ・架空線の防護や注意喚起用の看板が設置されていなかった。
- ・架空線の近接作業時に監視員を配置していなかった。

## 飛来落下事故

- ①日時:平成29年5月29日(月)14:30頃
- ②工事内容:法面对策工事
- ③事故内容:昇降用階段の設置作業中、転石が落下し作業員が被災した
- ④被害状況:死亡1名、重傷1名(頸椎骨折)



### 【事故発生状況】

昇降用階段の設置作業中、上方から約1m×約0.5m×約0.3mの転石が落下し、作業員が被災した。

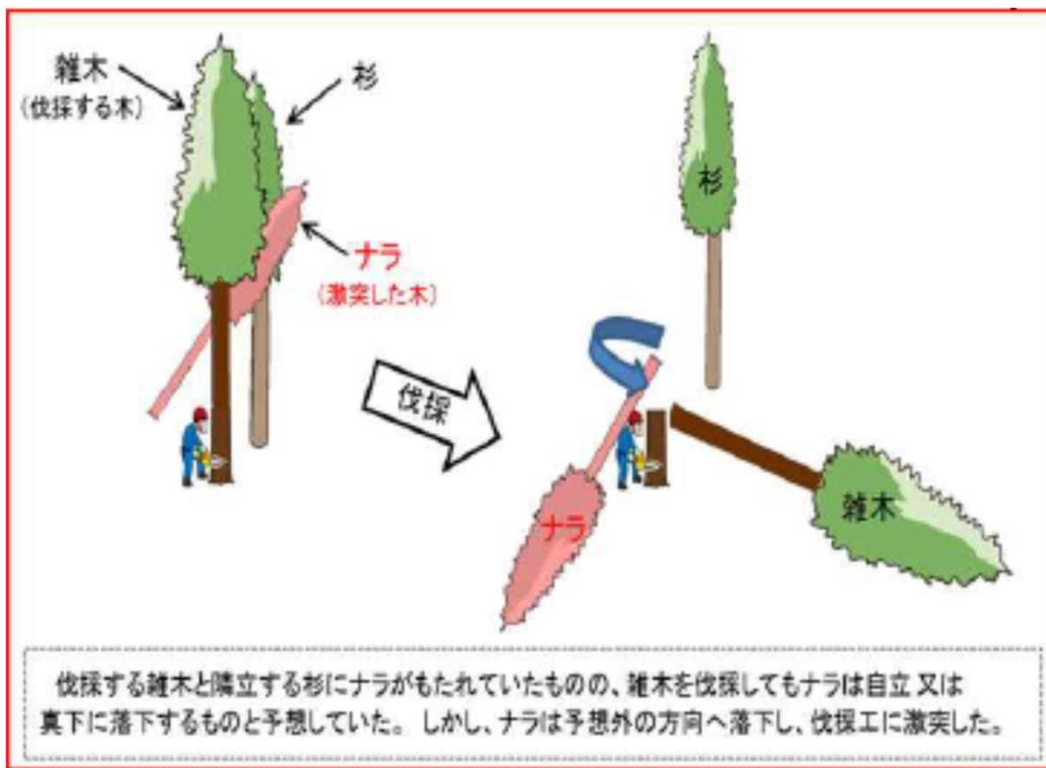
### 【事故発生原因】

・詳細は調査中。



## 工具等取扱事故

- ①日時:平成29年7月21日(金)8:40頃
- ②工事内容:工事用道路設置工事
- ③事故内容:伐採作業時に伐採木に引っかかっていた倒木が倒れ作業員に当たった
- ④被害状況:重傷1名(左肩甲骨骨折他)



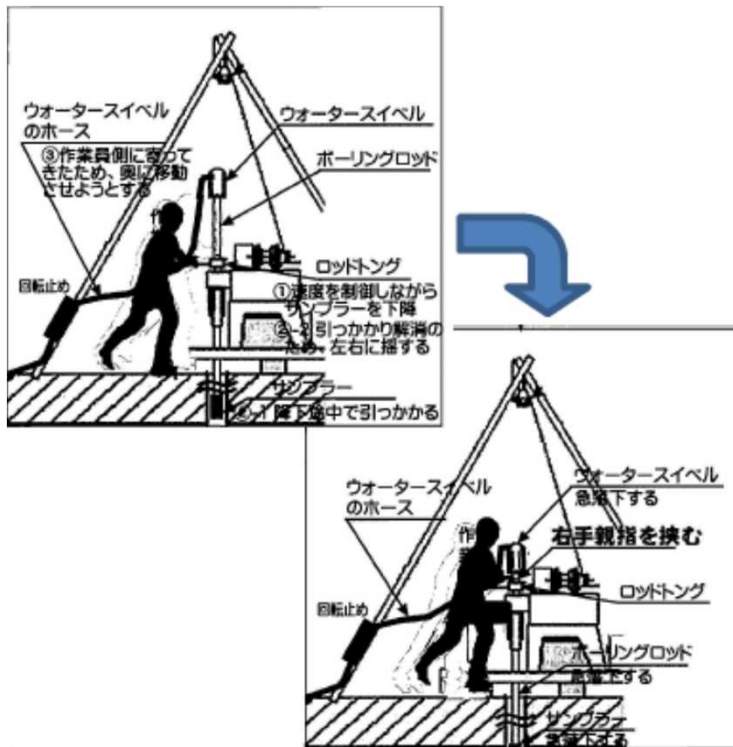
**【事故発生状況】**  
工事用道路設置予定箇所で伐採対象となる雑木を伐採したところ、隣り合う杉との間に挟まっていたナラの倒木が被災者側に倒れてきた。

**【事故発生原因】**

- ・伐採工が伐採木を切っても大丈夫だと独断で状況判断して作業を開始した。
- ・見張りなど他の伐採工を置かずに単独で作業した。

## 工具等取扱事故

- ①日時:平成29年8月26日(土)13:20頃
- ②工事内容:地質調査業務
- ③事故内容:調査ボーリング作業中、ウォータスイベルとロッドトング間に右手を挟む
- ④被害状況:右母指打撲挫創



### 【事故発生状況】

調査ボーリングで標準貫入試験用のサンプラーを下降中、寄ってきたウォータスイベルのホースを移動させようとしたところボーリングロッドが急降下し、ウォータスイベルとロッドトング間に右手親指を挟み負傷した。

### 【事故発生原因】

- ・掘削長さよりボーリングロッド長が短く、サンプラーが孔底に落ちた場合、ウォータスイベルとロッドトング間に安全な距離が確保されていなかった。
- ・ボーリングロッドの下降作業において、ウォータスイベルのホースのふらつき防止対策が十分ではなかった。
- ・作業開始前のKY活動で、ボーリングロッド昇降時に対する危険ポイントに触れていなかった。



- ①日時:平成29年9月26日(火)11:00頃
- ②工事内容:砂防堰堤補強工事
- ③事故内容:掘削残土を残土置場に運搬中、渡河施設から転落した
- ④被害状況:重傷1名(頭部外傷、急性硬膜下血腫、左腓骨骨折他)

## 自動車等事故



### 【事故発生状況】

掘削残土を重ダンプで残土置場に運搬中、渡河施設を走行中に転落したものの。

### 【事故発生原因】

・発生原因について確認中。

- ①日時:平成29年9月28日(木)10:00頃
- ②工事内容:取水設備修繕工事
- ③事故内容:仮設足場で作業中、足場の隙間から転落した
- ④被害状況:重傷1名(第12胸椎圧迫骨折、外傷性くも膜下出血他)

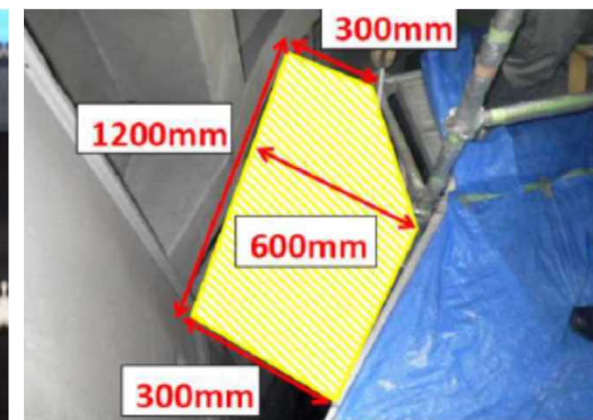
## 墜落事故



墜落時の状況



仮設足場の隙間状況



### 【事故発生状況】

仮設足場で塗装作業時の塗料の付着防止用ビニルシートを覆う作業を実施中、仮設足場の隙間から約7.3m下の仮設足場最下段へ転落した。

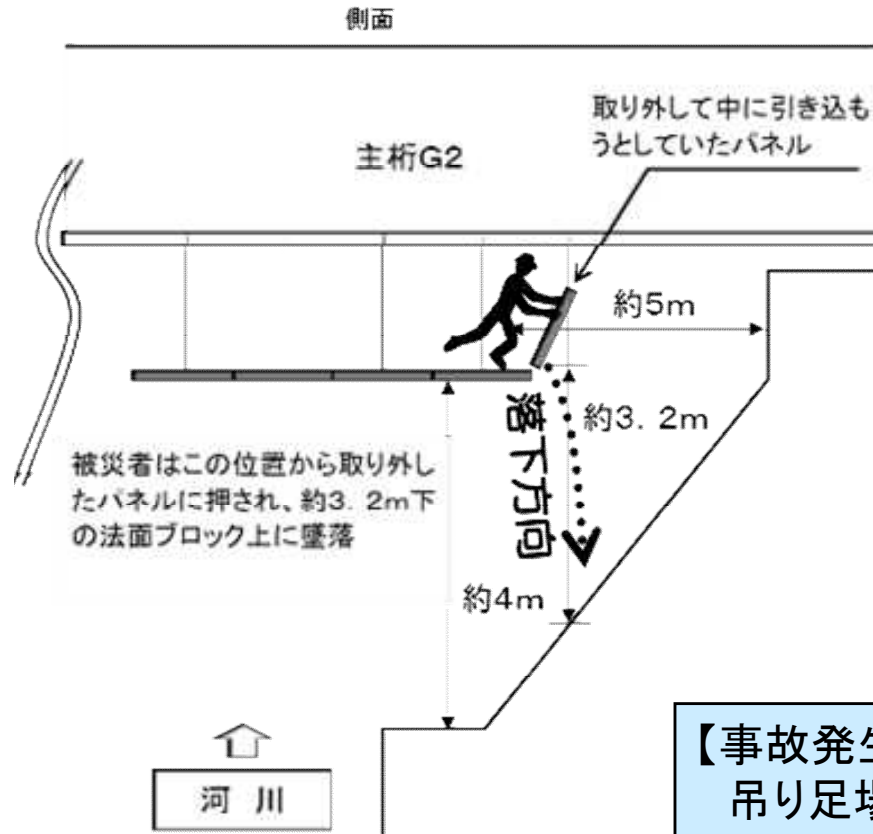
### 【事故発生原因】

- ・被災者は安全帯を使用していなかった。
- ・作業員に安全帯の使用に関する安全教育が徹底されていなかった。
- ・仮設足場の開口部に落下物防止網、手摺り等の立入防止措置がとられていなかった。



## 墜落事故

- ①日時:平成29年9月27日(水)9:40頃
- ②工事内容:塗替塗装工事
- ③事故内容:足場の解体作業中、作業員が吊り足場から転落した
- ④被害状況:重傷1名(右脛骨高原骨折、左腓骨骨折、左距骨骨折)



現場状況



現場状況



**【事故発生状況】**  
吊り足場で塗装のパネル足場(3.8m×0.66m、約40kg)を解体中、作業員が高さ約4mから転落した。

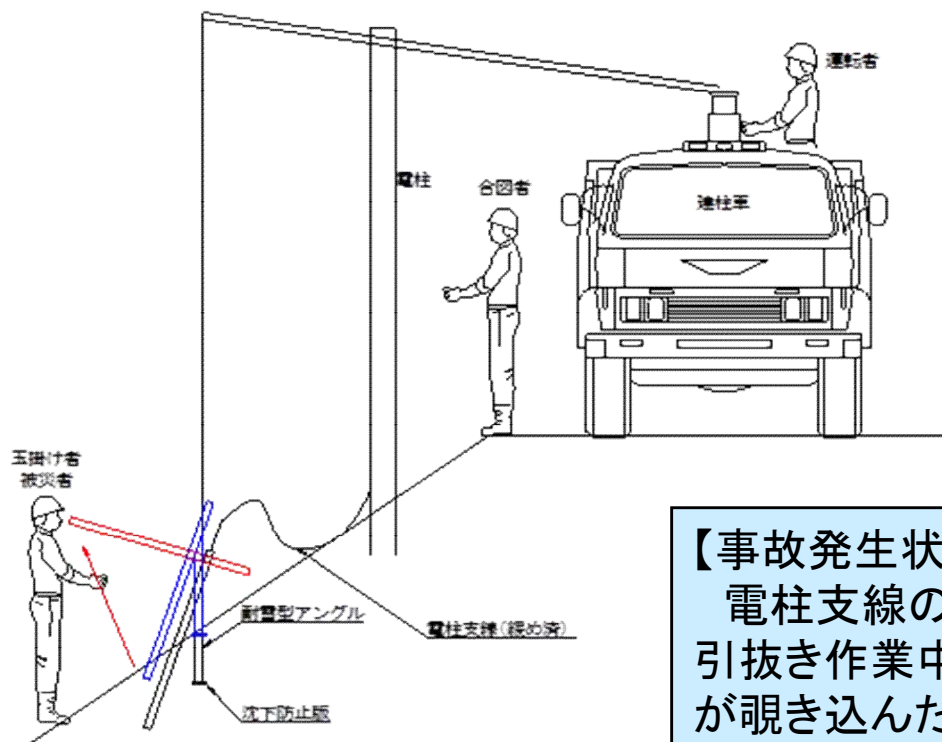
**【事故発生原因】**

- ・被災者は後ろに下がる際、安全帯の前方フックを掛け替えず、外し替えを忘れた。
- ・被災者は安全帯の後方フックを掛け忘れていた。

## クレーン等事故

- ①日時:平成29年7月12日(水)13:30頃
- ②工事内容:堆雪帯拡幅工事
- ③事故内容:電柱の支線の撤去作業中、跳ね上がった支線が作業員に当たった
- ④被害状況:顔面および口腔内挫創

### 現場状況



### 【事故発生状況】

電柱支線の耐雪型アンクルを建柱車の小型移動式クレーンで引抜き作業中、支線アンクルの埋設部分が抜けなかったため作業員が覗き込んだところ、跳ね上がった支線アンクルに当たった。

### 【事故発生原因】

- ・被災者が台図者の合図がない状態で、吊り荷の可動範囲に近づいた。
- ・埋設物周辺の下草刈りが不十分であった。

- ①日時:平成29年7月18日(火)10:50頃
- ②工事内容:防護柵設置工事
- ③事故内容:残コンクリートの撤去時、別の作業員のスコップが顔面に当たった
- ④被害状況:顔面挫創、打撲傷、鼻出血

## 取扱運搬等事故



### 【事故発生状況】

残コンクリート塊の除去作業中に、素手で持ち上げようとしていた作業員の隣で、もう一人の作業員がスコップでコンクリート塊を起こそうとしたところ、コンクリートが欠け、そのはずみで跳ね上がったスコップで被災者の顔面を負傷させた。

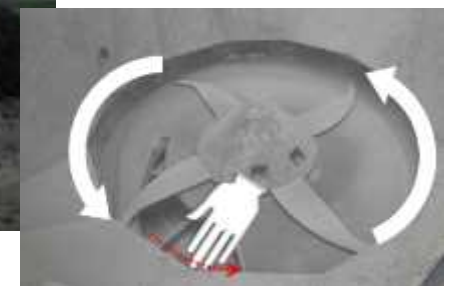
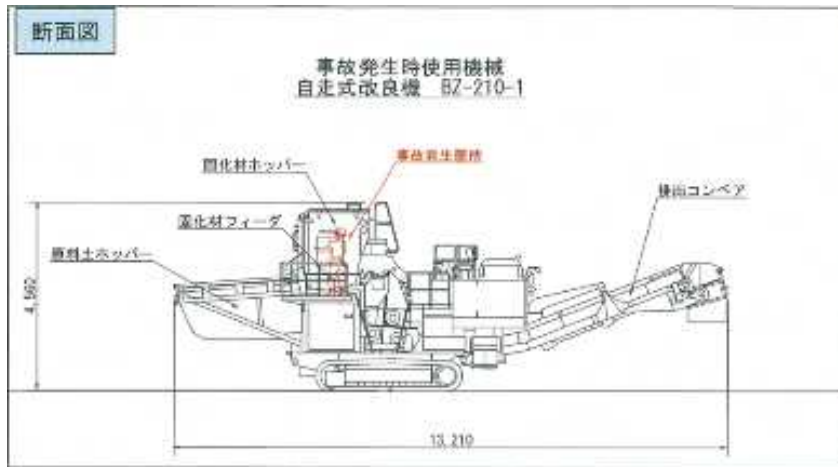
### 【事故発生原因】

- ・残コンクリートの後片付けを翌日に持ち越し作業としたため、コンクリートが硬化し作業が容易でなくなった。
- ・不測の事態に備えて作業員同士で適切な距離を取っておらず、作業員同士で声掛けを行わずに作業を行った。



- ①日時：平成29年6月15日(木)14:30頃
- ②工事内容：道路改良工事
- ③事故内容：自走式改良機を清掃中、機械に左手を巻き込まれて負傷した
- ④被害状況：左環指尖部損傷、左中指挫滅創

取扱運搬等事故



## 【事故発生状況】

自走式土質改良機の清掃時に、エンジンを掛けた状態でエア吹付けによりセメント投入口の清掃作業中、作業員がエアで落ちないセメント塊を直接手で落とそうとした際、固化剤フィーダーに左手を巻き込まれて負傷した。

## 【事故発生原因】

- ・自走式土質改良機を稼働させたまま清掃作業を実施した。
- ・自走式土質改良機の清掃作業を単独で実施していた。
- ・エアで落ちないセメント塊を専用の清掃用具を使用せずに作業を行った。
- ・作業手順書に自走式土質改良機の清掃作業の記載が欠落していた。

- ①日時:平成29年7月17日(月)14:10頃
- ②工事内容:橋梁塗装工事
- ③事故内容:クレーン装置付きトラックのブームが架空線に接触した
- ④被害状況:電線2本が破断し国道トンネル照明が停電

## クレーン等事故



### 【事故発生状況】

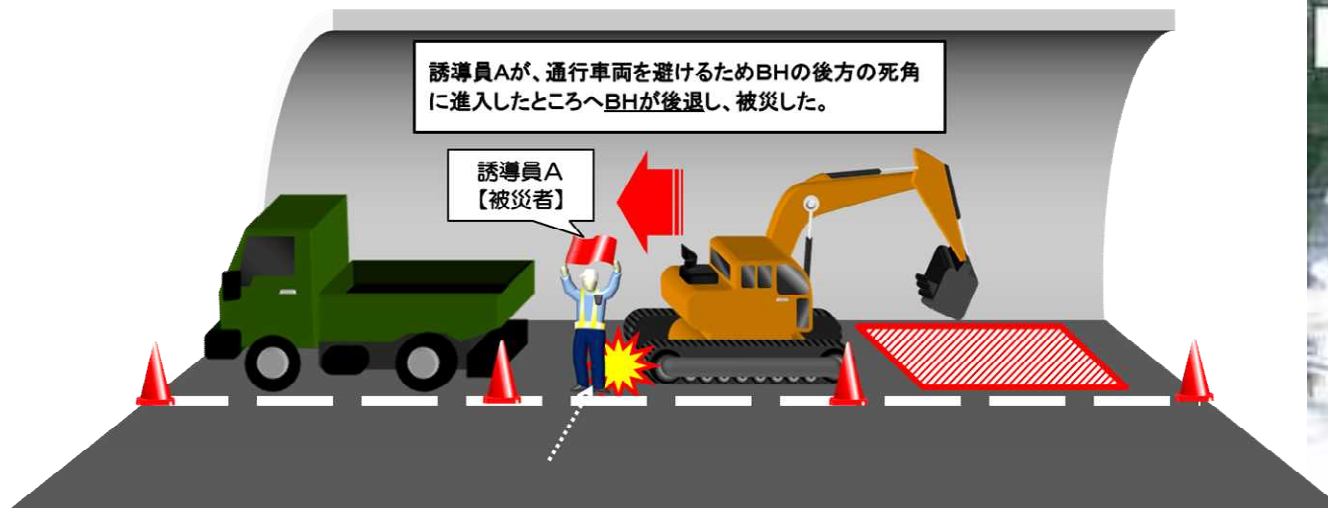
資材置き場に仮置きした足場資材をクレーン装置付きトラック(4t)で積み込み作業中、旋回したクレーンのブームがトンネル照明用の引込み架空線に接触し、3本の電線のうち2本が破断しトンネル照明が停電した。

### 【事故発生原因】

- ・足場資材の積み込み作業時、見張り員を配置せずに作業を行った。
- ・クレーンオペレーター1名での単独作業を行った。
- ・架空線の防護や注意喚起用の看板等が設置していなかった。

## 建設機械等事故

- ①日時:平成29年4月19日(水)11:00頃
- ②工事内容:トンネル補修工事
- ③事故内容:バックホウが後退したところ交通監視の誘導員に接触し負傷
- ④被害状況:右脛骨腓骨遠位端骨折、右踵骨骨折



### 【事故発生状況】

トンネル内で片交規制を行い舗設作業中、バックホウが後方に移動しようとした際、付近で交通監視をしていた誘導員が通行車両を避けるためにバックホウの死角に入り、バックホウのキャタピラに右足を踏まれ負傷した。

### 【事故発生原因】

- ・バックホウは後退禁止とされていたのにバックをした。
- ・誘導員の一人が持ち場を離れたため、被災した誘導員が本来の立ち位置では無い場所に立った。
- ・通行車両を避けようとした誘導員がバックホウの死角に入ってきた。

## 5. その他

- ・建設工事事故データベース(SAS)登録
- ・建設労働災害防止週間
- ・安全管理優良受注者表彰制度
- ・安全管理優良受注者 事例集
- ・あんぜん北陸



## 建設工事事故データベース（SAS）の登録を忘れずに

・建設工事事故データベース（SAS）は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。

・**休業4日以上**の**建設工事事故**について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録（入力）してください。

・「事故発生状況調書」は、技術管理課検査係で登録し、受注者への事故番号、パスワードを主任監督員へ通知します。

**ホームページ:** <https://sas.hrr.mlit.go.jp/>



### ・登録対象となる事故

事故の分類	事故の定義
労働災害	<p>工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。</p> <p>資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。</p> <p>なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。</p>
もらい事故	<p>工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。</p> <p>なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。</p>
負傷公衆災害	<p>工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。</p> <p>なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。</p>
物損公衆災害	<p>工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。</p>

※ 工事区域：工事作業現場内及び隣接区域

登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。



## 1. 趣旨

安全衛生管理体制の整備及び労働災害防止対策の具体的活動の定着  
北陸地方整備局管内における現場での安全を確保(平成元年より)

## 2. 期間

9月の第4週 月曜日から日曜日まで

## 3. 実施事項

- (1) 北陸地方整備局建設労働災害防止大会の開催
- (2) 北陸地方整備局建設労働災害防止週間の表示  
(事務所、出張所に立て看板等)
- (3) 安全パトロールの実施
- (4) 安全衛生管理の徹底
- (5) 安全管理体制の確立

## 【表彰の主旨】

北陸地方整備局では、平成元年より毎年9月第4週を「労働災害防止週間」と定め、建設工事における労働災害の防止に取り組んでいます。

その一環として、平成11年度より受注者による自主的な安全衛生管理体制の整備と、現場での安全対策の取組に対して、その安全管理が特に優良で他の模範となる受注者を「安全管理優良受注者」として表彰し、工事関係者の更なる安全に対する意識向上を図ることを目的としています。

表彰者は、社内の安全管理体制、工事現場における日々の安全活動、安全教育の充実、安全管理活動の推進と安全衛生管理に対する貢献等が特に顕著な受注者を選定しています。

## 【H29年度の表彰】

H29年度は、平成28年度に完成した工事の受注者325者の中から特に安全管理に関して優良な17者を選定し、H29年9月19日に表彰を行いました。

## 【受賞によるメリット】

- ・安全管理優良受注者表彰の受賞により、翌年の総合評価落札方式における評価として1点が2年間加算されます。

- ・その他

工事の安全管理の取組を掲載した安全管理優良事例集を平成26年度から作成し、受賞者等に配布及び北陸地方整備局HPに掲載しています。



平成29年度の受賞者

<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/anzenkanri.html>

**国土交通省 北陸地方整備局**  
 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Hokuriku Regional Development Bureau

[防災情報](#) | [地域・まち・住まいづくり](#) | [技術・建設産業](#) | [河川](#) | [道路](#) | [港湾空港](#) | [営繕](#) | [用地](#)

ホーム > 技術・建設産業 > 表彰関連

**表彰関連**

安全管理優良受注者表彰

- 平成28年度 [\[事例集\]](#)
- 平成27年度 [\[安全管理事例発表会資料 1・2・3\]](#) [\[事例集\]](#)
- 平成26年度 [\[安全管理事例発表会資料 1・2・3\]](#) [\[事例集\]](#)
- 平成25年度 [\[安全管理事例発表会資料 1・2・3\]](#)
- 平成24年度 [\[安全管理事例発表会資料 1・2・3\]](#)
- 平成23年度
- 平成22年度
- 平成21年度
- 平成20年度
- 平成19年度
- 平成18年度
- 平成17年度

事業別メニュー

表彰関係

- > 優良工事等表彰、優良工事下請表彰
- > 安全管理優良受注者表彰
- > 工事成績評定企業ランキング

問い合わせ窓口

- 各種相談窓口
- 各事業・施策別窓口

北陸地方整備局について

- 業務内容
- 組織図・幹部職員一覧表
- 整備局各課電話番号
- 整備局案内図
- 管内各事務所の紹介

## 平成29年度安全管理優良事例集

平成29年9月  
北陸地方整備局

### 株式会社 笠原建設

#### 1. 会社としての安全管理重点事項

- ① 安全教育活動の充実
  - ・ 本社安全管理室長がRSTトレーナーとして、協力業者に対し職長教育や各種特別教育講習を随時開催し、協力業者の安全に対する能力向上に貢献している。
- ② 労働災害低減のための施策
  - ・ 会社全体でヒヤリハットの収集に努め、リスクアセスメント化した分析結果資料を取り纏め、協力業者を含め共有展開している。
- ③ 各種安全活動の実施
  - ・ 安全衛生管理体制を確立し、月1回で安全衛生委員会を実施している。
  - ・ 「会社役員パトロール」を月2回実施している。
  - ・ 「衛生管理者パトロール」を女性社員が月4回実施している。
  - ・ 課長補佐以上（該当者23名）による抜打ち安全パトロールを各自で月2回以上実施している。
  - ・ 協力業者と合同パトロールを年2回実施している。
  - ・ 安全協力会社と合同の安全大会を年1回実施し、安全意識の高揚を図っている。
  - ・ 女子社員による安全衛生パトロールを年1回実施し、女性の視点から見た安全衛生に対する意見を安全衛生管理に反映させている。



女子パトロール状況

#### 2. 現場等における具体的な取組事例

- ① 歌高架橋切替改良工事における安全管理上の課題  
 工事は、国道8号新ルートの終点を既設橋梁の一部撤去後、補強盛土で擦り付ける工事であり、施工基面から橋桁までが近接（高さ3.3m）している状態である。現道桁下での作業となり、橋桁と重機械の接触損傷事故が懸念された。



橋桁下での施工

- ② 課題に対して現場で行った安全対策

国道8号現道桁下に「レーザーバリア警報システム」を配備し、橋桁に異常接近するとパトランプが点灯・警告音が鳴るように設置した。また、バックホウには衝突防止安全装置を取付けた機種に限定し、橋桁と重機との接触事故防止が図られ、安全確実な施工を行うことができた。



レーザーバリア設置状況

#### 3. その他工夫している点

- ・ 現道上での安全施設面では、橋桁撤去後の狭い幅員の中、より安全に車両が通行できる安全管理が課題であったが、①昼夜視認性のある電光掲示板の増設、②交通誘導員による昼夜徐行誘導作業、③現道が狭隘である為、夜間LED照明の配置で視認性を上げ交通事故防止対策を実施。さらに、現場を一望できるWebカメラの配置により、24時間リアルタイムで国道交通状態を把握するなど安全確保に努めた。

- ◆内容 事故発生状況の分析、事故事例の紹介
- ◆配布先 全事務所主任監督員、監督員、発注担当課長、係長等  
全受注者 現場代理人、主任(監理)技術者
- ◆使用目的 安全教育訓練等
- ◆配布時期 概ね四半期毎



国土交通省 北陸地方整備局  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Hokuriku Regional Development Bureau

● 防災情報 ● 地域・まち・住まいづくり ● **技術・建設産業** ● 河川 ● 道路 ● 港湾空港 ● 営繕 ● 用地

河川・道路ライブカメラ

● 災害・防災情報

記者発表

国土交通省 北陸地方整備局

事業別メニュー

- 建設部TOPへ
- 品確法
- お知らせ
- 北陸地方整備局採択の工事の入札契約の種別に関する説明会
- 業務の品質確保・生産性向上に関する説明会
- 平成29年度インフラメンテナンス講習会
- 技術情報
  - 積算基準・要領等
  - 監修・検査
  - 入札・契約
  - 新技術
  - 橋梁化施工
  - 工事施工

技術・建設産業情報

お知らせ

技術情報

- 積算基準・要領等
  - 土木工事設計材料単価(平成29年10月単価) [PDF:436KB]
  - 測量業務標準歩掛の訂正(訂正表)について [PDF:78KB]
- 監修・検査
  - 要領等
  - W/Cミータ(フレッシュコンクリート中の単位水量測定) 概要・管理要領(北陸技術事務所HP)
  - 非破壊試験等によるコンクリートの品質管理について通知文(平成24年4月) [PDF:3,102KB]
  - 非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋及び引張(平成24年3月改定) [PDF:2,070KB]
  - 橋脚・非破壊試験によるコンクリート構造物の配筋検査(平成24年3月改定) [PDF:6165KB]

**工事施工**

- **あんぜん北陸**
- 工事事故発生状況
- 施工管理等技術検定試験  
試験日程、合格証明書の再交付・書換について掲載しています。

建設副産物

- 建設副産物リサイクル

建設産業情報

北陸地域の建設業の許可、宅地建物取引業の免許等の建設産業関係の情報

- 建設業情報
- 宅地建物取引業



国土交通省 北陸地方整備局  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Hokuriku Regional Development Bureau

● 防災情報 ● 地域・まち・住まいづくり ● 技術・建設産業 ● 河川 ● 道路 ● 港湾空港 ● 営繕

ホーム > 技術・建設産業 > 工事施工

あんぜん北陸

事業別メニュー

- 工事施工
  - 工事成績評定企業ランキング
  - あんぜん北陸
  - 通年施工
  - 施工管理等技術検定試験
  - 安全訓練(実践)の事例

お問い合わせ窓口

あんぜん北陸 176号 (2010.04)

あんぜん北陸 177号 (2011.07)

あんぜん北陸 200号 (2013.08)

あんぜん北陸 201号 (2015.10)

あんぜん北陸 202号 (2016.1)

あんぜん北陸 203号 (2016.4)

あんぜん北陸 204号 (2016.7)

あんぜん北陸 205号 (2016.10)

あんぜん北陸 206号 (2017.1)

あんぜん北陸 207号 (2017.4)

あんぜん北陸 208号 (2017.7) **NEW !!**



## あんぜん北陸

第209号 2017. 10. 31

北陸地方整備局  
技術開発・管理部会  
工事安全管理分科会

### ◆平成29年1月～9月工事事故の状況◆

#### ◆平成29年1月～9月事故の特徴◆

- ☆事故発生件数は、「46件」(速報値)。
- ☆死亡事故は「1件」発生。
- ☆休業4日以上事故が、「10件」発生。過去5年で最大。
- ☆公衆災害は架空線・車両損傷事故、労働災害は取扱運搬事故が増加傾向。

#### ◆現場での安全な施工に向けて◆

⇒**気温の低下や天候の急変などに注意し、無事故で工事完成を!**

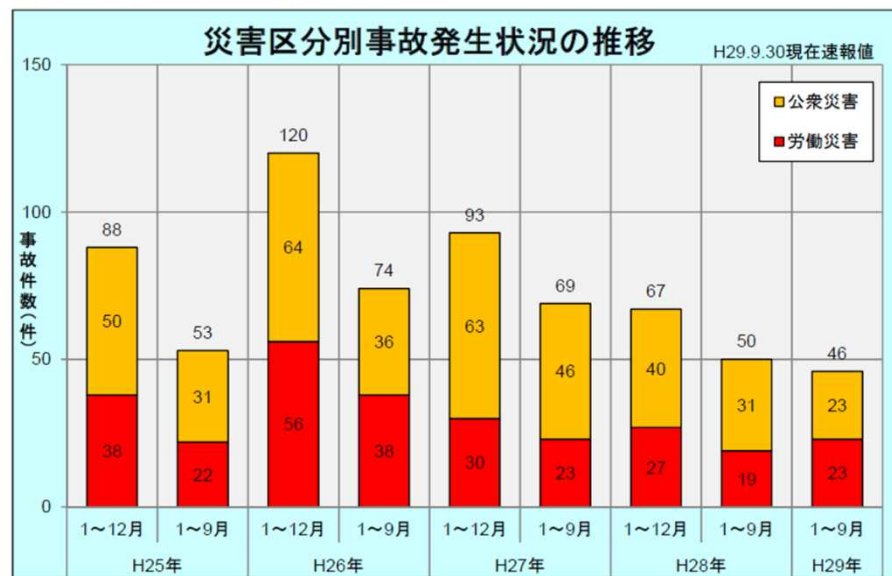
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

### 1. 工事事故の発生状況

#### 1) 各年の事故件数の推移

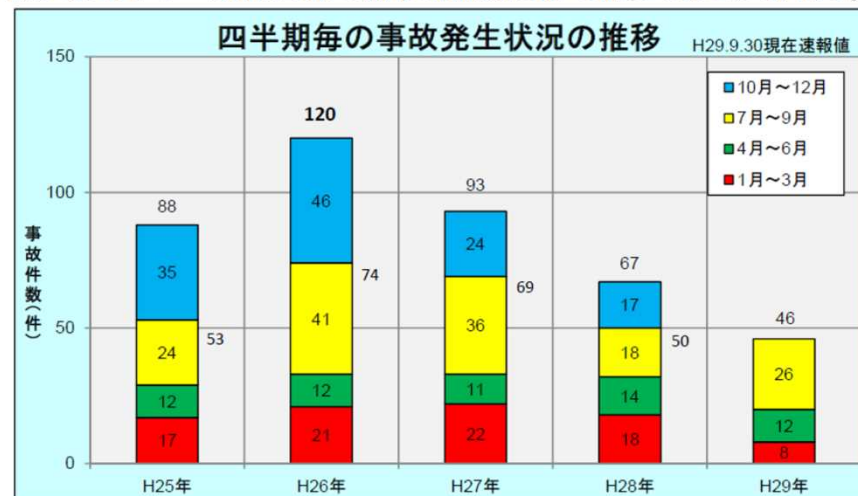
H29年9月までの工事事故件数は46件となっています。公衆災害は23件、労働災害は23件となっています。



- 1 -

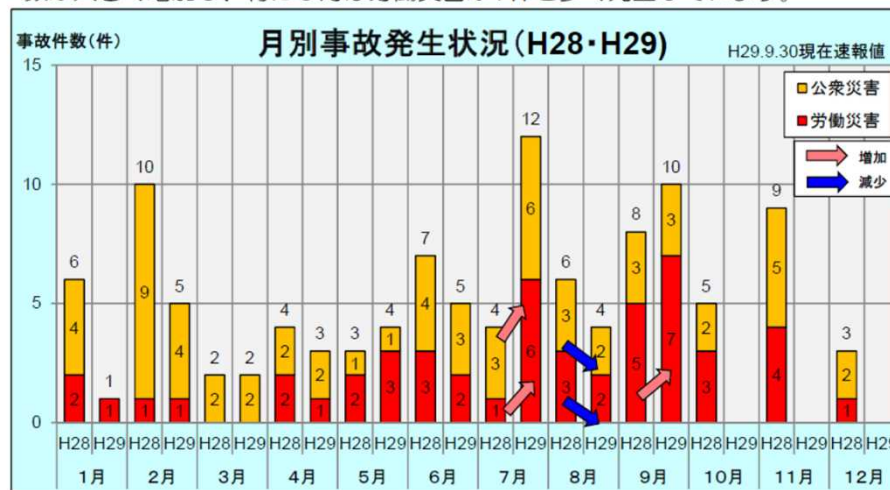
### 2) 四半期別の事故発生件数

四半期別事故発生件数を比較すると、H29年は1～6月の事故が過去5年で最少ですが、7～9月は26件と前年の同時期と比べ8件多く発生しています。



### 3) 月別の事故発生件数

H29とH28の月別事故発生件数を比較すると、7月、9月は事故の発生件数が大きく増加し、特に9月は労働災害が7件と多く発生しています。



- 2 -